澪標 みおつくし
平成３０年９月３０日　第５号
鹿児島水産高等学校

月	日	曜	10月の主な行事予定
10	1	月	文部科学省SPH実地調査(～2日) 任意更衣 いじめ問題を考える週間(～5日)
	3	水	地区大会(～4日)
	7	日	公害防止管理者試験
	17	水	中間考査(～19日) 三級海技士試験(～18日)
	18	木	三地区PTA研修会(本校会場)
	19	金	単車実技講習(南海自動車学校)
	21	日	枕崎市民運動会(寮生参加)
	22	月	授業公開ウイーク(～26日) 教育相談期間(～31日) 二級海技士試験(～23日)
	23	火	中高連絡会
	26	金	1･2年PTA,乗船保護者会(2E)
	30	火	つくる実習(Cｺｰｽ ～11/2)

ＳＰＨ本格的に始動
（スーパープロフェッショナルハイスクール）

食品工学科

九月十四日(金)に枕崎市漁業協同組合の揚野功様をお招きし、ＳＰＨ講習会が行われました。内容は「製品開発のための衛生管理に関する講習」でした。食品の衛生管理の基盤となる「ＨＡＣＣＰシステム」、食中毒の種類や対策法をクイズ形式で生徒に分かりやすいように講義してくださいました。今回の講義を生かし、よりよい製品開発に取り組んで行きたいと考えています。

海洋科栽培工学コース・・・ドローンによる撮影も実施

九月十九日(水)に、指宿市岩本沖にて藻場再生のためのウニ除去に栽培工学コース三年生が挑戦しました。今年で十四年目を迎えましたが、今回は六千百十一個体の除去を行う事ができました。実習に参加した中川君（桜ヶ丘中出身）は「これまでの先輩方のウニ除去によって藻場が再生してきているのを身近で感じられた。後輩達にも続けて欲しい」と話しました。

鹿水高マルシェ in 南溟館

九月二十二日(土)に枕崎市文化資料センター南溟館で鹿水高マルシェを開催しました。枕崎市内の保育園、幼稚園に声を掛け、「お買い物券」を利用した買い物や各ブースでプラトンボや髪飾り等の製作体験をしていただきました。この体験は、普段、水産教育を受けている本校生が知識と技術を用いて園児の先生になり体験を補助することが大きな特徴です。いつもは地域行事で年上の人と会話することが多い高校生ですが、この時ばかりは園児の目線になり、優しく、そして分かり易い言葉を選びながら一生懸命教えていました。来場者より「明日もマルシェをして欲しい」と要望をいただく場面もあり、大盛況でした。約五百五十名のお客様に来場いただき、感謝の一日となりました。

九月十一日～三十日には**「創立１０９年の歩み」**と題した展示も行われました。ありがとうございました。

陸上部大活躍（三種目で県チャンピオン）

九月二十一日(金)から二十三日(日)にかけて行われた第62回県高等学校新人陸上競技大会において、二年情報通信科(2W)の有上茉那さん(大笠中出身・写真左)が女子ハンマー投で42m46cmの大会新記録で優勝、同じく二年情報通信科の坂元一洸君(知覧中出身・写真右から二人目)が男子100m(10秒86)と200m(22秒33)でそれぞれ優勝し、本校生徒が三種目で優勝するという快挙を成し遂げました。「水高旋風」ならぬ「2W旋風」を巻き起こした二人は、高校から陸上を始め、競技歴一年半で県チャンピオンとなりました。二人を指導する成田先生は、「種目は違うがクラスメイトとしていることで、お互いの飛躍が良い刺激になっているようである。二人とも勉学にも熱心に取り組むが、勉学での『やると決めたことは最後までやり通す』という意志の強さが競技にも表れているように思う。これからも互いに切磋琢磨して、自分達にしかできないことを実現してほしい。」と話してくれました。陸上部の今後の活躍に注目です。

この他二年海洋科機関コースの豊山貴仙君（赤徳中出身・写真左から二人目）が、男子ハンマー投で五位に入る健闘を見せました。

「潜水士」クラス全員合格！

九月十四日(金)に、二年海洋科栽培工学コースの生徒八名が夏休みに受験した「潜水士」の結果発表がありました。結果は、見事クラス全員が一発で合格しました。生徒たちは、五月から補習に臨み、夏休みには栽培工学コースの恒例となっている、学校での試験対策合宿を行い全員合格を目指しました。今回受験した、坂口君(坊津学園中出身)は「五月からクラス全員で取組んだ成果が出て良かったです。合宿の時には朝から晩まで勉強漬けでしたが、クラス全員で励まし合いながら頑張ることで団結力も高まったような気がします。」と感想を述べてくれました。

実習船「薩摩青雲丸」出港式

九月十四日(金)に、薩摩青雲丸第二次航海出港式が枕崎港で実施されました。晴れ渡る清々しい秋空の元、多くのお見送りをいただきました。実習生代表挨拶では、岡海斗君(赤木名中出身)が、「鹿児島県の水産・海運業界の後継者となるべく、しっかりと勉強して参ります」と、力強く話してくれました。今回の実習は、専攻科七名、本科海洋科海洋技術コース十五名の計二十二名の実習生が参加します。

七十日の航程で、マグロ延縄実習や航海当直実習、ホノルル寄港時には現地の高校生との交流事業も計画されています。

十一月に鹿児島に帰港する際の、一回りも二回りも大きく成長した実習生たちとの再会が楽しみです。

後期「教育実習」

九月十三日から二十八日まで三週間にわたり鹿児島大学水産学部から五名の学生が教育実習に取り組みました。実習生は教員としての意識を持ち、毎日夜遅くまでの教材研究や部活動への参加など、一生懸命頑張ってくれました。

今回の実習生の中には平成二十七年度に海洋科栽培工学コースを卒業した沖田先生も参加しており、後輩の皆さんへメッセージを頂きました。「大学では高校でも学んだ種苗生産について学んでいます。高校で学んだことと大学で学んでいることが教育実習に活かされています。高校で学ぶことや過ごした時間は決して無駄にはなりません。学生である時間は短く貴重です。ぜひ有意義に過ごしてください。」とのこと。沖田先生には、ぜひ将来本校に教員として戻ってきてほしいものです。

保護者の皆様へ
本校は「信頼される学校づくり」を目標に生徒・保護者・職員・同窓会が一丸となり地域・学校の活性化に取り組んでいます。御心配・不安なことなどありましたら、いつでも御連絡ください。TEL0993-76-2111 教頭まで